

平成29年度 支え合うきよせ委員会 第3回
(清瀬市生活支援・介護予防サービス提供主体等協議体) 会議録

- 1 開催日時 平成29年11月22日(水)午後1時30分から午後2時30分
- 2 開催場所 清瀬市役所第1・2委員会室
- 3 出席者 平成29年度第3回支え合うきよせ委員会 出欠席名簿の通り

4 次第

(1) 開会・挨拶

(2) 配布資料の確認

次第

- ・ 資料1 清瀬市生活支援・介護予防サービス提供主体等協議体設置要綱
- ・ 資料2 平成29年度 支え合うきよせ委員会 第2回会議録(案)
- ・ 資料3 平成29年度 地域資源・ニーズ把握部会 第5回会議録
- ・ 資料4 平成29年度 地域資源・ニーズ把握部会 第6回会議録
- ・ 資料5 平成29年度 地域資源・ニーズ把握部会 第7回会議録
- ・ 資料6 平成29年度 支え合いバックアップ部会 第7回打合せ記録
- ・ 資料7 平成29年度 11月15日号市報
- ・ 資料8 支え合い情報ファイル
- ・ 資料9 支え合いノート
- ・ 資料10 「支え合いファイル」&「支え合いノート」配布について

(3) 紹介

ア 生活支援コーディネーター(二層)紹介

(4) 議題

ア 生活支援コーディネーター(二層)の一層協議体への参加について

事務局より、資料1『清瀬市生活支援・介護予防サービス提供主体等協議体設置要綱』第7条により「生活支援コーディネーターは、協議体の会議に出席しなければならない。」とされていることから①二層生活支援コーディネーターの一層協議体への参加、②二層生活支援コーディネーターの会議における着席位置(委員や一層生活支援コーディネーター同様、円卓を囲んでの会議参加)について提案があり、了承。

イ 議事録の取り扱いについて

事務局より、資料1『清瀬市生活支援・介護予防サービス提供主体等協議体設置要綱』第6条の3により「会議の議事内容を公開しないことができる」とされていることから、部会の記録は本会に資料として報告するが、こうした記録をインターネットに公開した場合市民や団体に意図しない形で情報が伝わり、調整しづらくなることを防ぐため、部会の記録は公開せずその要旨を本会の議事録に記

入することについて提案。このことについて委員より、個人や団体に支障がある場合には配慮が必要だが、それ以外の場合に原則公開すべきと意見があり、議事録は個人情報等に配慮し要旨とするが、原則公開とすることを確認。

(5) 報告

ア 前回の議事録

事務局より資料2『平成29年度 支え合うきよせ委員会 第2回会議録(案)』について報告があり、承認。

イ 各部会報告・意見交換

地域資源・ニーズ把握部会（A部会）の内田部会長、支え合いバックアップ部会（B部会）の柳原部会長より、それぞれの部会の議論の経過と取り組みの状況について報告。

① 地域資源・ニーズ把握部会（A部会）

◆地域団体等との意見交換会

- ・予定していた4か所の地域で開催済み。記録を生活支援コーディネーターが課題、委員の意見、市との調整が必要な内容等に整理し、今後、意見交換会参加者に回答として配付予定。

◆支え合い情報ファイルとノート

- ・支え合い情報ファイル100部と支え合いノート200部を作成し、老人クラブ、サロン、2016年のフォーラム参加者、意見交換会参加者等に配付し、活用してもらうことを事後承認。

◆第二層生活支援コーディネーター配置についての要望提出

- ・①第二層の生活支援コーディネーター配置にあたり、組織的な活動を希望。②生活支援コーディネーターや支え合うきよせ委員会の誰かがおり、部会などを開催することができる拠点整備を希望。③議論を行うだけでなく、形にしていくための予算確保を希望。

② 支え合いバックアップ部会（B部会）

◆広報について

- ・市報11月15日号の記事を作成し発行。四コマ漫画などを取り入れることで、相互の支え合いがわかりやすく描けたと考えている。部会として、年に数回市報に支え合いの取り組みについて掲載することを希望。
- ・今回の市報に、支え合い度チェックという記事を掲載。既に支え合いの取り組みを実施している方やこれからやろうとしている方に対し、認定証を発行することを検討。

◆支え合い体験会

- ・支え合い体験ゲームを近藤委員のサロンにて実施。今後も他の地域で実施を検討。

◆活動場所、資金の確保

- ・活動場所、資金の確保に関して、生活支援コーディネーターが他市の例を情報収集、見学し、それを元に議論。

◆部会開催について

- ・ 今後は月に一回程度の開催を目指して、部会を定例的に行う。部会として生活支援コーディネーターの活動についてもバックアップをしていきたい。

(6) その他

ア 地域情報 Book について

事務局より、地域情報 Book について支え合うきよせ委員会として発行せず、生活支援コーディネーターが発行する旨を報告。理由として、前回の会議後、各委員に意向を確認したところ、情報収集を行ってきたのは地域包括支援センターであることから、支え合うきよせ委員会としての発行はふさわしくないのではないかという意見が多数であった。しかし、内容が有用であるため、これまでの集大成として、地域包括支援センターの職員でもある生活支援コーディネーターがケアマネジャー宛に発行とする。

イ 次回開催日

平成 30 年 2 月 21 日 (水) 13:30～ コミュニティプラザひまわり会議室 4
30 年度事業計画等について検討を予定。

(7) 閉会